

# 息長っ子

息長小学校だより



令和6年6月26日  
第3号  
文責 川崎由美子



<https://okinaga-e-maibara.edumap.jp/>

## 体験を通して学ぶ



6月は学校行事が盛りだくさんでした。「びわ湖フローティングスクール」では、びわ湖の自然や恵み、環境問題に触れ、現在、そして未来において、自分たちにできることは何かを考えるよい機会となりました。また、長浜小学校と北郷里小学校の子どもたちと友好を深めるとともに、息長小学校のよさや自分のよさについて気づきがあったように感じました。「コンサートに出かけよう(ホールの子事業)」では、迫力あるオーケストラの演奏に心躍らせ、時には手拍子をしたり体でリズムをとったり、また、しっとりと聞き入ったりする姿が見られました。「クリスタルプラザ・浄水場見学」では、ハードなスケジュールにもかかわらず、施設の方の説明をしっかりと聞き、丁寧にメモを取る姿が印象的でした。安全な水やごみの処理のことを学び、自分たちの生活を支えてくださる方々の仕事やその苦勞を知り、感謝の思いをもつことができました。「サツマイモ植え」では、多和田畑をお借りして、サツマイモの苗を植えました。手で土を掘り、苗を据え、そこに土をかぶせていきました。土に触れることは心を落ち着かせ、五感を刺激するそうです。単に植物を育てるというだけでなく、他の効果も期待できる活動だと思います。「土に根をおろし、風と共に生きよう。種と共に冬を越え、鳥と共に春を歌おう」(映画ラピュタより)の言葉のように、この体験を通して、将来、自然と共に生きることの楽しさや喜びを感じてくれることを期待します。「駐在所・郵便局見学」では、地域に出かけ、「天野川防災学習」では、地域からゲストティーチャーをお迎えして、教えていただきました。実物を見る、その場の雰囲気を感じ、体験談を聞く等、机上の学習では得られない貴重な体験ができました。

学校運営協議会主催「天野川ふるさとウォーク」では、小野航先生を講師にお迎えし、天野川流域を歩き、歴史遺産について説明いただきました。雨天により20日に延期になり、さらに熱中症予防のためコースを変更することになりましたが、子どもたちは意気揚々と学校を出発しました。小野先生は江戸時代の旅人に扮し、皆の気分を盛り上げてくださいます。そして、途中で近江老人クラブ連合会の皆様も合流していただき、「天野川ふるさとウォーク御一行様」は長い行列となり、ふるさと息長のよさを感じながら歩いたのでした。歴史名跡に到着すると小野先生を囲み説明を聞きました。



天野川の水源のお話、「息が長い=長命」という古代の人々にとって大切なものをさしたという息長の地名にまつわるお話、大和政権に関係していた古代豪族の息長氏のお話、山津照神社古墳の出土品のお話、息長郵便局横の道標のお話、中世のころの領主のお城、箕浦城のお話、人と物が行き交う物流の拠点、箕浦市場のお話等を聞きながら、子どもたちは過去に思いをはせるのでした。

古くからこの息長の地には人が住んでいて、たくさんの歴史名跡が残っていること、他の地域につながる重要な場所であったこと、脈々と歴史は続き今の私たちにつながっているということを教えていただきました。子どもたちがこの息長の地域に住んでいることを誇りに思い、地域と豊かにつながり、地域を大切に思い愛していきますようにと願うばかりです。

このように、子どもたちは体験を通して様々なことを学ぶことができました。「知識」はもちろんのこと、「自立心」「共生」「協調性」「シビックプライド(地域に対する誇り)」など精神面でも得られた力があつたと感じました。地域の皆様はじめ、学校運営協議会、近江老人クラブ連合会、お世話になりました全ての皆様、本当にありがとうございました。今後ともどうぞよろしくお願ひします。